

# サッカーの活動における 暴力根絶に向けて

今回は、サッカーの指導現場のより近くで活動している各都道府県サッカー協会の取り組みを紹介させていただきます。以下に紹介する富山県サッカー協会では、暴力事案があつて以来、迅速に取り組みを推進しています。



## 公益社団法人 富山県サッカー協会の取り組み (富山県サッカー協会ホームページより)

平成26年5月18日に魚津市のサッカーチームで起きた暴行問題で、公益財団法人 日本サッカー協会裁定委員会から平成26年7月16日付で決定通知があり、当該指導者に対して「1年間のサッカー関連活動停止の懲罰を科す」となりました。

富山県サッカー協会では、7月17日に富山産業展示館テクノホールで富山県内登録チーム323チームの指導者に参加を要請し、282チーム、450名の指導者などの参加のもと、「暴力・暴言根絶のための研修会」を開催しました。日本サッカー協会技術委員長の山口隆文氏の特別講演とグループディスカッションを通して、暴力・暴言根絶のための学びと気付きを得ました。

今後、繰り返し研修を受けることで、さらに意識を高め、より良い指導で選手を育成していきたいと考えています。

### ■暴力・暴言根絶のための取り組み

- ① 県サッカー協会のホームページに「暴力根絶相談窓口」を設置します。
- ② 県サッカー協会規律委員会を定期的に開催します(隔月開催)。
- ③ 報告制度を徹底します。  
各種別で実施した規律委員会の報告をすること。懲罰等を科した事実の報告をすること。
- ④ 必要に応じて法律専門家(弁護士)の意見をもらう体制を築きます。

### ■4種委員会

- ① 各登録チームの指導者全員の有資格者義務化  
2018年までに指導者全員が資格を取得する(C級・D級)。
- ② 4種研修会の充実と活用  
早急に地区代表の指導者を集め、再発

防止の注意喚起を行う。富山県サッカー協会と連携し、日本サッカー協会から講師を招へいし、所属指導者全員の研修会を実施する。

- ③ ウェルフェアオフィサーの設置  
ウェルフェアオフィサーを選任し、公式戦会場に配置する。
- ④ 県・地区トレセンスタッフのリーダー育成  
県・地区でも全体をコントロールできる人材を育成する。

JFAもこうした都道府県サッカー協会の取り組みを通じて、環境を改善し、サッカーをしている子どもたち、サッカーを始めようとしている子どもたちに、サッカーを楽しめる、サッカーを好きになる環境を提供していきたいと考えています。

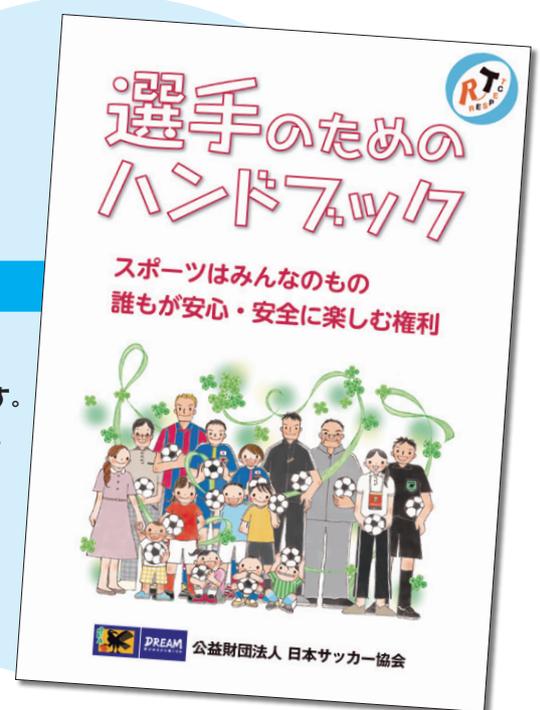
JFAはこれまで、サッカーの活動現場における暴力・暴言の根絶に向けて、さまざまな取り組みを行ってきましたが、選手自身に暴力や暴言、人権や差別について考えるきっかけとしてもらうため、また暴力根絶相談窓口の存在を知り、自分自身でも相談できるようにするために、選手にも読みやすいハンドブックを制作しました。

「選手のためのハンドブック」は、JFA公式Webサイトからダウンロードが可能です。選手だけでなく、指導者の皆さんにもぜひ読んでいただき、身近な仲間と話し合うためのツールとしてご活用いただければと考えています。

## 選手のためのハンドブック

スポーツはみんなのもの  
誰もが安心・安全に楽しむ権利があります。  
そのためのハンドブックを用意しました。

「選手のためのハンドブック」を参考に、  
リスペクトする、される、  
こんな選手になる！  
あなた自身の  
リスペクト宣言をしましょう！



## 掲載項目(目次)



- ・ 大好きなスポーツを楽しむことは、権利
- ・ 子どもたちから指導者に、お願い
- ・ よい指導者とは
- ・ 試合に出て力を試すチャンス
- ・ 自分に合ったよいクラブを選ぼう
- ・ 暴力・暴言はいらない

- ・ スポーツは本来…
- ・ みんな、大切なひとり
- ・ 相談しよう
- ・ リスペクトー大切に思うこと
- ・ 代表選手からのメッセージ
- ・ 自分自身のリスペクト宣言

## 暴力根絶相談窓口のご案内

【設置場所】 公益財団法人 日本サッカー協会 管理部内

【利用方法】 電話(専用回線)、FAXおよび面会

※FAXを利用する場合は、報告用紙をJFA公式Webサイトよりダウンロードし、必要事項を記入してお送りください。

【利用時間】 平日10:00～15:00(土日祝、年末年始を除く)

【連絡先】 電話番号 : 03-3830-1823  
FAX番号 : 03-3830-2005

2015年1月より、設置場所、利用時間、FAX番号が変更となりましたのでご注意ください。